TEPRA LINK

取扱説明書

KING JIM

はじめに

「TEPRA LINK」について

「TEPRA LINK」は、iPhone や iPad などの iOS 端末で「テプラ」のラベルの作成や編集をおこなうソフトです。また､無線 LAN や Bluetooth® で接続された「テプラ」本体からラベルを印刷できます。ラベルデザインも豊富に用意されているので、お好みのラベルを簡単に作成できます。

対応「テプラ」本体と対応 iOS、対応端末については当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

- 本製品の使用を原因とする損害・逸失利益などにつきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は、iOS 用アプリ「TEPRA LINK」について書かれています。
  Windows 用「PC ラベルソフト SPC10」については「テプラ」本体に同梱の取扱説明書、Mac OS 用「シンプルラベルソフト TEPRA SMA3」、「写真情報ラベルソフト TEPRA Exif Labeler」については当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。
  また、対応する「テプラ」本体の機能や操作およびテープカートリッジの使いかたについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本書は、端末を使用するうえでの基本的な用語や操作について、すでに理解されていることを前提に書かれています。用語や基本操作などについての不明な点は、ご使用いただいている端末の説明書などをご覧ください。
- 本書の「注意」と「MEMO」は以下の内容を説明しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。

- 本文中で使用している画面は、iPhone の画面を例に説明しています。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書は、一部仕様と異なる箇所が存在する可能性があります。また、実際の画面とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「KING JIM」、「テプラ」、「TEPRA」、「テプラ」PRO、「テプラ」Grand は、株式会社キングジムの商標または登録商標です。
「Mac OS」、「iPad」、「Apple Watch」は、Apple Inc. の商標です。
Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
「Google」は Google Inc. の商標です。
「Bluetooth」は Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに

- 「TEPRA LINK」について 1
- 目次 3

接続編

- 無線 LAN 接続をする 4
- Bluetooth® 接続をする 5

基本編

- メイン画面の見かたと機能 6
- メニュー画面の見かたと機能 8
- 印刷設定 9
  - 「テプラ」を選択する 10
  - テープカット・ハーフカットを設定する 10
  - 定長印刷を設定する 11
  - テープ幅を指定する 11
  - 余白を設定する 11
  - 印刷速度を設定する 12
  - 連続印刷をする 12
  - 印刷濃度を指定する 12
  - テープ送り・テープ送りカットをする 12
- 印刷する 13
  - 印刷内容を確認する（プレビュー）..... 13
  - 印刷実行 14
- 文字を入力する 15
  - 挿入した QR コード、写真、記号の差し替え／位置調整をする 16
  - フォント設定 16

編集編

- QR コードを挿入する 17
- 連絡先の情報を挿入する 18
- 手書きでラベルに描画する 19
- アルバムの写真を挿入する 20
- 外枠を挿入する 21
- 記号を挿入する 22
- 文字を翻訳する 23
- ラベルカタログを使用する 25

その他

- ファイルや印刷履歴を呼び出す 26
- メール送信をする 27
- 著作権情報 27

付録

- テープカートリッジを使いわける 28
- 故障かな？と思ったら 30
  - 印刷を実行しても「テプラ」本体が動作しない 30
  - きちんと印刷されない 30
  - 途中までしか印刷されない 30
  - ラベル印刷後、自動カットされない ... 30
- アフターサービスについて .... 巻末

接続編

無線 LAN 接続をする

❶「テプラ」本体を無線 LAN 接続待機状態にする

対象機種や設定方法については、「テプラ」本体の取扱説明書またはセットアップガイドをご覧ください。

❷ iOS 端末の［設定］でネットワークを選択する

❸ パスワードを入力し、接続する

MEMO

- 無線 LAN 接続対象機種、「テプラ」本体の取扱説明書、セットアップガイドは当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードできます。
- 複数台の「テプラ」と接続しているときは、［テプラ選択］画面で使用する「テプラ」を選択してください。
☞ P.6「メイン画面の見かたと機能」

Bluetooth® 接続をする

❶「テプラ」本体を Bluetooth® 接続待機状態にする

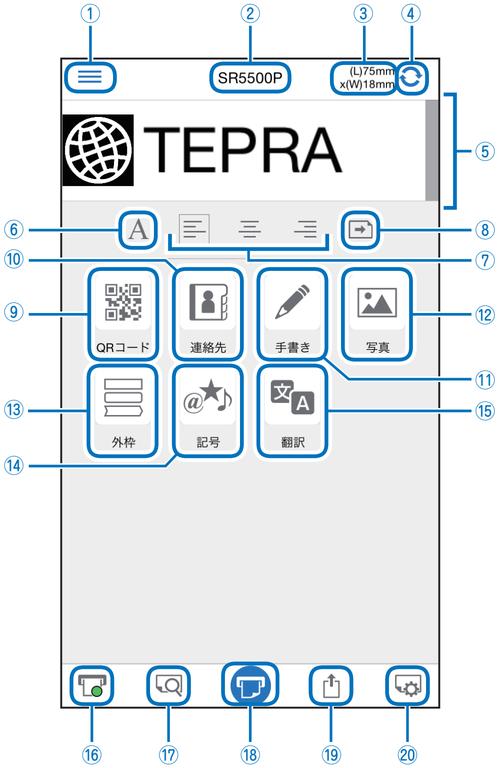
対象機種や設定方法については、「テプラ」本体の取扱説明書またはセットアップガイドをご覧ください。

❷ iOS 端末の［設定］で［Bluetooth］を ON にし、使用する「テプラ」を選択する

MEMO

- Bluetooth® 接続対象機種、「テプラ」本体の取扱説明書、セットアップガイドは当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードできます。
- 複数台の「テプラ」と接続しているときは、［テプラ選択］画面で使用する「テプラ」を選択してください。
☞ P.6「メイン画面の見かたと機能」

メイン画面の見かたと機能



① （メニュー）
メニューを表示します。
P.8「メニュー画面の見かたと機能」

② **接続「テプラ」表示**
接続している「テプラ」の機種名を表示します。
タップすると「テプラ」を選択できます。
P.10「「テプラ」を選択する」

③ **テープ情報**
ラベルの長さと幅を表示します。

④ （テープ情報更新）
テープ情報を更新します。
本体のテープカートリッジを入れ替えたときはタップしてください。

⑤ **ラベルビュー**
ラベルのプレビューを表示します。
タップすると文字や記号の編集ができます。
P.15「文字を入力する」

⑥ A（フォント設定）
文字フォント、サイズ、装飾を変更します。

⑦ （割付け設定）
割付けを変更します。

⑧ （縦書き・横書き設定）
縦書き・横書きを選択します。
※一部のフォントでは縦書きを設定したとき、正しく表示されない場合があります。

⑨ （QR コード）
文字や連絡先を QR コードにして挿入します。
P.17「QR コードを挿入する」

⑩ （連絡先）
連絡先に登録された情報を挿入します。
P.18「連絡先の情報を挿入する」

⑪ （手書き）
手書きで描いた線をラベルに描画します。
P.19「手書きでラベルに描画する」

⑫ （写真）
iOS 端末に保存されているアルバム内の写真を挿入します。
P.20「アルバムの写真を挿入する」

⑬ （外枠）
外枠を挿入します。
P.21「外枠を挿入する」

⑭ （記号）
記号を挿入します。
P.22「記号を挿入する」

⑮ （翻訳）
入力した文字を翻訳します。
P.23「文字を翻訳する」

⑯ （ステータス）
接続している「テプラ」の機種名、状態、テープ幅を表示します。
- （緑）：待機中　印刷ができます。
- （黄）：印刷中
- （赤）：エラー　エラー内容が表示されます。

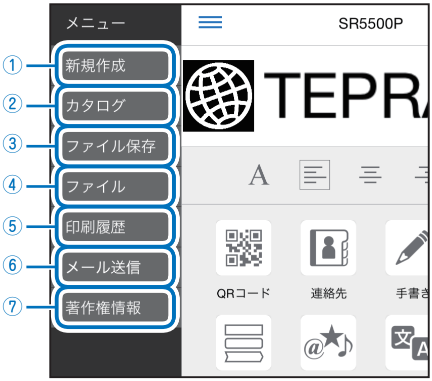
⑰ （プレビュー）
印刷内容を確認します。
P.13「印刷内容を確認する（プレビュー）」

⑱ （印刷）
印刷をします。
P.14「印刷実行」

⑲ （メール送信）
ラベルデータをメールに添付します。

⑳ （印刷設定）
オートカットや定長印刷などの設定をします。
P.9「印刷設定」

メニュー画面の見かたと機能



① **新規作成**

新規にラベルを作成します。

② **カタログ**

ラベルカタログから選択してラベルを作成します。
カタログの文字や記号は編集できます。
P.25「ラベルカタログを使用する」

③ **ファイル保存**

ラベルの内容、設定を 100 件まで保存できます。

④ **ファイル**

保存したファイルを呼び出します。
P.26「ファイルや印刷履歴を呼び出す」

⑤ **印刷履歴**

印刷履歴からファイルを呼び出します。
P.26「ファイルや印刷履歴を呼び出す」

⑥ **メール送信**

ラベルデータをメールに添付します。
P.27「メール送信をする」

⑦ **著作権情報**

著作権情報、アプリのバージョン情報を表示します。

印刷設定

ラベルに関する設定をおこないます。

「テプラ」選択：
使用する「テプラ」を選択します。
P.10「「テプラ」を選択する」

テープカット・ハーフカット：
テープカット・ハーフカットのする / しないを設定します。
P.10「テープカット・ハーフカットを設定する」

テープ長：
定長印刷を設定します。
P.11「定長印刷を設定する」

テープ幅：
テープ幅を指定します。
P.11「テープ幅を指定する」

余白：
余白を設定します。
P.11「余白を設定する」

印刷速度：
高速 / 低速を選択します。
P.12「印刷速度を設定する」

印刷部数：
連続印刷する枚数を指定します。
P.12「連続印刷をする」

印刷濃度：
印刷濃度を指定します。
P.12「印刷濃度を指定する」

テープ送り・テープ送りカット：
テープ送り・テープ送りカットをします。
P.12「テープ送り・テープ送りカットをする」

「テプラ」を選択する

複数台「テプラ」を接続している場合、使用する「テプラ」を選択します。

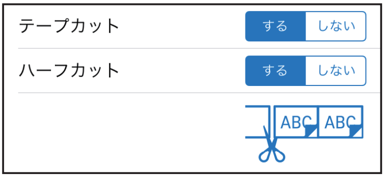
1 ［テプラ］またはメイン画面上の（接続テプラ表示）をタップする

2 使用する「テプラ」を選択する

テープカット・ハーフカットを設定する

使用するテープカートリッジに応じて設定してください。

P.28「テープカートリッジを使いわける」

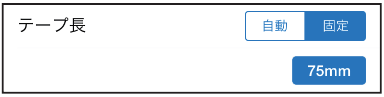


!! 注意 !!

ハーフカットに対応していない機種では選択できません。

定長印刷を設定する

テープ長を［固定］にし、印刷するテープの長さを数値で指定してください。



MEMO

- テープ長は 1,000mm まで 1mm 単位で指定できます。
- 最短テープ長は接続している「テプラ」や余白の設定などによって異なります。最短値以下の長さは指定できません。
- 指定するテープの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 指定した長さに文章がおさまらないときは文章が切れて印刷されます。事前に印刷内容を確認してから印刷してください。
  P.13「印刷内容を確認する（プレビュー）」

テープ幅を指定する

「テプラ」本体にセットされているテープカートリッジのテープ幅は、テープ情報を更新することで認識されますが、幅を指定してラベルを作成することもできます。

MEMO

「テプラ」本体にセットされているテープカートリッジと違うテープ幅を指定したまま印刷をすると、文字が切れたり、小さく印刷されます。正しい幅で印刷する場合は、テープ情報を更新するか、「テプラ」本体にセットされているテープカートリッジのテープ幅を指定してください。

余白を設定する

余白を「ふつう」と「極少」から選択できます。

［ふつう］：約 10mm（テープ幅が 36mm 以下）
　　　　　：約 21mm（テープ幅が 50mm 以上）
［極少］　：約 1mm

!! 注意 !!

WR1000 の「フチなし」機能は非対応です。

印刷速度を設定する

接続する「テプラ」によっては印刷速度を「高速」と「低速」から選択できます。

!! 注意 !!

使用するテープカートリッジによっては「低速」を選択してください。

P.28「テープカートリッジを使いわける」

連続印刷をする

同じラベルを何枚も印刷できます。
1 ～ 99 枚の範囲で枚数を指定してください。

MEMO

連続印刷を途中でやめるときは［キャンセル］をタップしてください。
SR5500P との接続では［キャンセル］は表示されません。「テプラ」本体の電源を切って印刷を停止し、再度接続してください。

印刷濃度を指定する

使用するテープカートリッジに応じて、印刷濃度を指定してください。

P.28「テープカートリッジを使いわける」

テープ送り・テープ送りカットをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「テープ送りカット」をしてください。

印刷する

印刷内容を確認する（プレビュー）

印刷前に、印刷するイメージを確認して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

1. （プレビュー）をタップする
2. プレビュー画面で印刷内容を確認する

ピンチアウト：拡大
ピンチイン：縮小
ドラッグ：表示位置移動

（カメラ）：
カメラを起動します。
カメラを貼り付けたい対象に向けると、実際にラベルを貼ったときのイメージを確認できます。

（色設定）：
プレビュー上のラベルの色を設定します。

（印刷）：
印刷を実行します。

（原寸表示）：
原寸で表示します。

（閉じる）：
プレビューを終了します。

MEMO

プレビュー表示中に iOS 端末をシェイクすると、印刷を実行します。

印刷実行

1. 「テプラ」本体に印刷するサイズに合ったテープカートリッジがセットされていることを確認する

2. ステータス表示が緑色で「待機中」となっているか確認する

3. （印刷）をタップする

MEMO

印刷中やテープ送り時に、電池、AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルをはずさないでください。電源を OFF にしたあとに、はずしてください。

文字を入力する

ラベルを新規に作るときは、メニューから新規作成を選択して、文字を入力します。すでに入力された文字を編集する場合には、ラベルビューの文章をタップして、文字を入力します。

MEMO

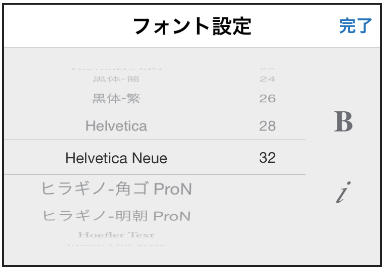
- テープ幅により、印刷できる行数の上限が以下の通り異なります。
  4mm、6mm：1 行
  9mm：2 行
  12mm：3 行
  18mm：5 行
  24mm、36mm：6 行
  50mm、100mm：10 行
- 「TEPRA LINK」では、以下のテープは使用できません。
  インデックスラベル、ケーブル表示ラベル、アイロン転写テープ、カットラベル

挿入した QR コード、写真、記号の差し替え／位置調整をする

ラベルビュー上の QR コード、写真、記号をタップすると設定画面が表示されます。

フォント設定

文字のフォント、サイズ、装飾を設定できます。



MEMO

- フォントを変更すると最大の文字サイズが自動的に選択されます。
- 装飾は対応していないフォントでは選択できません。
- 縦書きを設定したとき、正しく表示されない場合があります。

QR コードを挿入する

文字や連絡先を QR コードにして挿入します。

1. （QR コード）をタップする
2. 文字を入力するか、 連絡先 をタップし、QR コードを作成する

QR コード化する文字を入力します。

入力した文字を消去します。

連絡先から QR コード化する情報を選択します。

作成した QR コードを表示します。

3. 完了 をタップする

MEMO

- QR コードが小さいと、読み取られない可能性があります。テープ幅 18mm 以上で作成してください。
- QR コードに入力できる文字数は、半角文字で 1990 文字、全角文字で 842 文字までです。この文字数は入力可能な文字数であり、読み取りができることを保証するものではありません。
- QR コードは「モデル 2」、「誤り訂正レベル Low」の仕様で作成されます。
- 印刷した QR コードは、読み取れることを確認してからご使用ください。
- 挿入後にテープビュー上の QR コードをタップして、差し替えや表示位置の変更ができます。
  P.16「挿入した QR コード、写真、記号の差し替え／位置調整をする」
- 連絡先の情報は vCard 形式で QR コードに記録されます。読み取るときは vCard 形式に対応した端末、ソフト、アプリケーションなどを使用してください。

連絡先の情報を挿入する

連絡先に登録された情報を挿入します。

1 （連絡先）をタップする

2 挿入する連絡先を選択し、**編集** から挿入する項目を選択する

挿入する項目を選択します。
「住所」、「氏名」、「会社名」、「電話番号」、「メールアドレス」についてそれぞれオン / オフを選択します。

挿入する連絡先を選択します。
一度に 20 件まで選択できます。

上から 20 件の連絡先を選択します。

3 **完了** をタップする

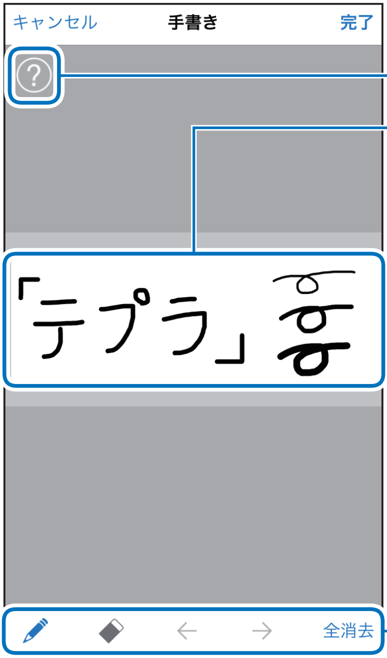
MEMO

- 複数の連絡先を選択したとき、以下の操作が可能になります。
  - ラベルビューを上下にスワイプすると、他に選択した連絡先が表示されます。
  - 連絡先ごとに、テープ長、フォント設定、割付け、縦書き・横書きを設定できます。
    P.9「印刷設定」
    P.16「フォント設定」
  - （印刷）をタップしたとき、すべての連絡先を印刷するか、表示中の連絡先のみを印刷するか選択できます。
- すでに連絡先を選択している状態で 20 件選択をタップしたときは、すでに選択している数を含めて 20 件になるように、上から残りの数分の連絡先が選択されます。

手書きでラベルに描画する

手書きで描いた線をラベルに描画します。

1. （手書き）をタップする
2. 手書きで描画し、完了 をタップする



手書き操作のヘルプを表示します。

描画領域です。
ピンチアウト：拡大
ピンチイン：縮小
2 本指ドラッグ：表示位置移動
ラベルの右端をホールドしてドラッグ：テープ長調整

（ペン）：
描画します。3 種類の太さから選択できます。

（消しゴム）：
描画をなぞって消します。3 種類の太さから選択できます。

（元に戻す）：
直前の操作前の状態に戻します。5 つ前までの状態まで戻すことができます。

（やり直す）：
元に戻した操作をやり直します。5 つまでの操作をやり直すことができます。

全消去（全消去）：
描画をすべて消去します。

MEMO

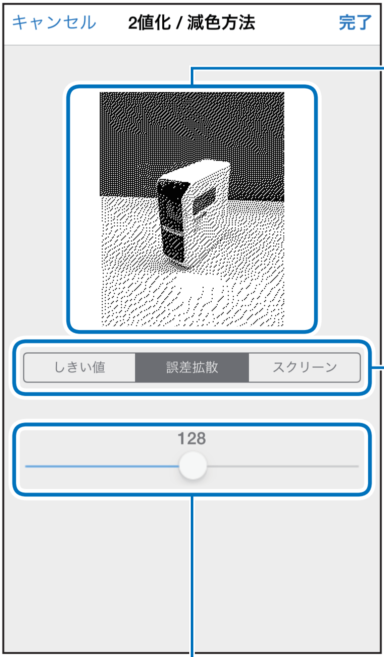
- QR コード上への描画はできません。
- 外枠上への描画はできません。

アルバムの写真を挿入する

iOS 端末に保存されているアルバム内の写真を挿入します。

1 （写真）をタップする

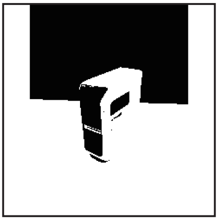
2 写真を選択し、２値化／減色方法を選択し、完了 をタップする



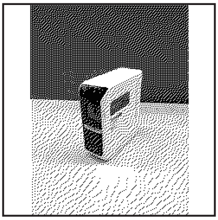
選択した写真を表示します。

写真の表示方式を選択します。

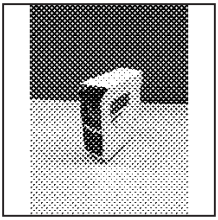
- **しきい値：**
  白と黒の２階調で表示されます。



- **誤差拡散：**
  誤差拡散法で２値化されます。



- **スクリーン：**
  ハーフトーンスクリーンで表示されます。



［しきい値］を選択したとき、白／黒の境界値を設定します。

MEMO

挿入後にラベルビュー上の写真をタップして、差し替えや表示位置の変更ができます。

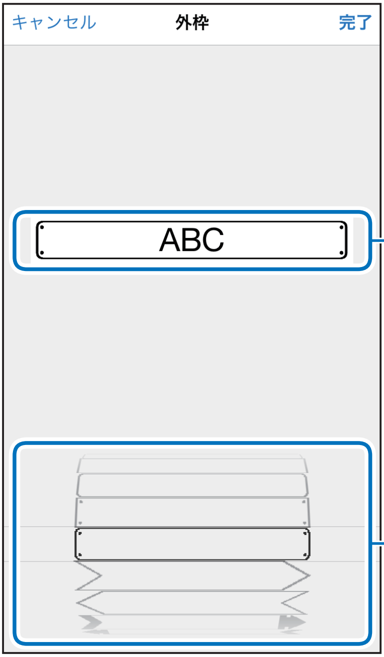
☞ P.16「挿入した QR コード、写真、記号の差し替え／位置調整をする」

外枠を挿入する

外枠を挿入します。

1 （外枠）をタップする

2 外枠を選択し、完了 をタップする



選択した外枠イメージを表示します。

外枠を選択します。

@★♪ 記号を挿入する

記号を挿入します。

1 @★♪（記号）をタップする

2 記号を選択する

MEMO

挿入後にラベルビュー上の記号をタップして、差し替えや表示位置の変更ができます。

P.16「挿入した QR コード、写真、記号の差し替え／位置調整をする」

文字を翻訳する

Google 翻訳機能を利用して、テキストの翻訳をします。

1. （翻訳）をタップする

2. 言語を設定し、翻訳実行 をタップする

3. 完了 をタップする

!! 注意 !!

- 翻訳機能の使用には、インターネットへの接続が必要です。インターネットに接続された iOS 端末から使用してください。
- 翻訳は Google 翻訳機能を使用しています。翻訳結果の正確性につきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 原文に文字を入力していない状態では翻訳できません。
- 原文に改行が含まれているとき、改行は削除して翻訳します。
- 原文ラベルビューに表示している QR コード、写真、記号の編集はできません。
- 言語によっては、設定しているフォントで正しく表示されない場合があります。正しく表示されているか確認してから印刷をおこなってください。
- 翻訳できる文字数は 100 文字までです。

MEMO

- 翻訳が完了したあとは通常の文字として編集ができます。
- 訳文の文字サイズは行数に応じた最大サイズで表示します。
- 訳文のフォント、装飾の設定は原文と同様の設定で表示します。
- テープ幅によって、制限があります。
  4mm、6mm：1 行
  9mm：2 行
  12mm：3 行
  18mm 以上：問題なく翻訳が実行できます。

参考 翻訳のコツ

翻訳機能では機械的な翻訳をおこなっています。翻訳の精度を上げるために、以下の点にご注意ください。

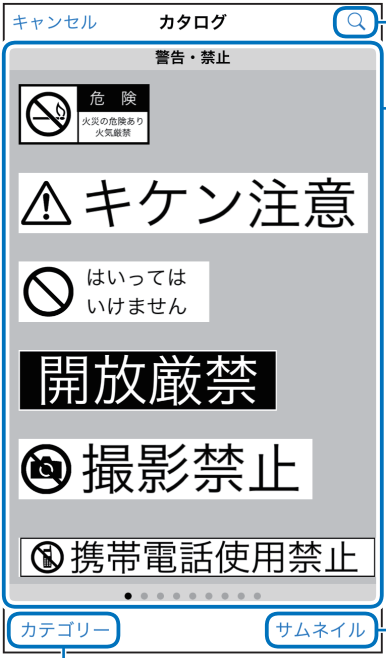
- あいまいな表現を避け、なるべく短い簡潔な文章にする
- 略語を使用しない
- できるだけ漢字を使用する
- 口語体や俗語、丁寧すぎる文章は使用しない
- 文中に余計な句読点を入れない

ラベルカタログを使用する

あらかじめ用意されたラベルデザインを使ってラベルを作成します。

1 メニュー内の［カタログ］をタップする

2 ラベルを選択し、（印刷）をタップして印刷を実行するか、［編集］をタップする



検索します。

ラベルを選択します。
左右にスワイプしてカテゴリーを切り換えることができます。
選択後、文章や記号を編集できます。

サムネイル表示します。

カテゴリーを選択します。

!! 注意 !!

縦書きに設定した場合、正しく表示されないときがあります。

MEMO

デザインによって、テキストのレイアウトが分割されたラベルがあります。
分割されたテキストはそれぞれ設定を変更できます。

ファイルや印刷履歴を呼び出す

保存したラベルのファイルや、印刷履歴からラベルを呼び出します。

1. **メニュー内の［ファイル］／［印刷履歴］をタップする**
2. **ラベルを選択する**

ファイルと印刷履歴を切り換えます。

ファイルまたは印刷履歴を選択し、削除します。

呼び出すラベルを選択します。
ラベルを左にスワイプして削除をタップすると、ファイルまたは印刷履歴を削除します。
ラベルをホールドすると、メール送信を選択できます。

MEMO

- ファイルは 100 件まで保存できます。
- 印刷履歴は直近の 100 件が保存されます。

メール送信をする

ラベルのデータをメールに添付して送信することができます。

1 メニュー内の［メール送信］もしくはメイン画面の （メール送信）をタップする

ラベルデータがメールに添付されます。

MEMO

本アプリケーションで作成したラベルデータは「TEPRA LINK」でのみ開くことができます。

著作権情報

アプリのバージョン、著作権情報が表示されます。

1 メニュー内の［著作権情報］をタップする

付録

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

「テプラ」PRO テープカートリッジ：

	テープ種類	設定方法
オートカッター使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼん	①カッターの刃の摩耗を防ぐため、［印刷設定］で［テープカット］を［しない］に設定して印刷する。②「テプラ」本体からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを 3mm（りぼんの場合は 10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。
ハーフカット禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・蓄光ラベル・りぼん	［印刷設定］で［ハーフカット］を［しない］に設定して印刷する。
オートトリマー使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・蓄光ラベル・りぼん	「テプラ」本体のオートトリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル	［印刷設定］で［印刷濃度］を +3 に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・グレー文字ラベル・蓄光ラベル	印刷がカスレた場合［印刷設定］で［印刷濃度］を +3 に設定して印刷する。
印刷速度の調整が必要（対象機種：SR5900P）	上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼん	［印刷設定］で［印刷速度］を［低速］に設定して印刷する。
非対応	インデックスラベル・ケーブル表示ラベル・アイロン転写テープ・カットラベル	―

「テプラ」Grand テープカートリッジ：

テープ種類	設定方法
Grand テープカートリッジ	Grand インクリボンカートリッジと合わせて使用してください。
Grand カットラベル・宛名	感熱対応テープです。 インクリボンカートリッジをはずして使用してください。

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注 意 !!

テープを「テプラ」本体にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

MEMO

- アイロンラベルをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。[印刷設定] で [印刷濃度] を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、テープカートリッジを「テプラ」本体から取りはずしてください。

故障かな？と思ったら

動作しない、印刷できないなど、問題が発生した場合は、次の項目を確認してください。

印刷を実行しても「テプラ」本体が動作しない

ステータスバーに異常を示すメッセージが表示されていませんか？

異常が発生すると印刷できません。メッセージの内容を確認してください。

設定は正しく実行しましたか？

正しい手順で iOS 端末との接続をおこなったかどうかを確認してください。また、接続方法によっては無線 LAN ルータなどの設定も確認してください。手順については、「テプラ」本体取扱説明書またはセットアップガイドをご確認ください。

対応「テプラ」本体と、対応 iOS、対応端末を使用していますか？

対応「テプラ」本体と、対応 iOS、対応端末については当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

きちんと印刷されない

テープカートリッジは正しくセットされていますか?

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください（WR1000 の場合は、インクリボンカートリッジについても正しくセットされているか確認してください）。

テープがたるんでいませんか？

テープがたるんでいると、印刷結果が欠けたり、カスレたりすることがあります。テープ送りをして、たるみを取ってください。

印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると印刷結果の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。「テプラ」PRO 本体の場合は、別売のヘッド・クリーニングテープもご使用いただけます。

途中までしか印刷されない

テープカートリッジの残りがありますか？

新しいテープカートリッジをセットし、もう一度印刷してください。

テープが終了するなどで印刷が中断していませんか？

新しいテープカートリッジをセットし、もう一度印刷してください。SR5900P の場合は、印刷再開を設定する画面が表示され、印刷を再開するかキャンセルするかを選択できます。

［テープ長］の［固定］で設定した長さが、入力内容の長さよりも短くなっていませんか？

長さを入力内容の長さよりも長く設定するか、［自動］に設定してください。

☞ P.11「定長印刷を設定する」

ラベル印刷後、自動カットされない

テープカットを［しない］に設定していませんか？

［テープカット］を［しない］に設定すると、印刷後の自動カットはおこないません。印刷設定画面で、設定を確認してください。

☞ P.10「テープカット・ハーフカットを設定する」

カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げの販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

オートカッター使用禁止のテープを使用していませんか？

使用するテープの種類によって、自動カットができません。印刷設定画面で、［テープカット］を［しない］に設定してください。

☞ P.10「テープカット・ハーフカットを設定する」

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本体およびご使用中の AC アダプタ･テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げの販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げの販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げの販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

FAX からの場合　0120-79-8102
携帯電話からの場合　0570-06-4759
※通話料お客様負担
受付時間：平日（月曜日～金曜日）　午前 9 時～午後 5 時 30 分

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

「テプラ」iOS 用アプリ TEPRA LINK 取扱説明書
2015 年 7 月 第 2 版

2015-19-①